

国語科学習指導案

海田町立海田西小学校

- 1 日 時 平成29年11月22日(水) 第5校時
- 2 学 年 第6学年1組(男子 14名 女子 7名 計21名)
- 3 場 所 海田町立海田西小学校 6年1組教室
- 4 単元名 町の未来をえがこう
「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語第5学年及び第6学年「A話すこと・聞くこと」の指導事項イ「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」及び、「C読むこと」の指導事項カ「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」に基づいて設定したものである。

本単元では、「豊かな未来＝町の幸福」をテーマとした教材文を読み、自分たちの町の未来、すなわち町の幸福を考え、目的に合った情報や資料を収集・整理・分析し、プレゼンテーションを行う。「読むこと」と「話すこと・聞くこと」の複合領域単元になっており、プレゼンテーションに向けてどのような情報や資料が必要かという、目的意識をもった読みを行う力を育成できる単元である。

(2) 児童観

児童はこれまでの学習で、図やグラフ、写真などの資料から分かることを整理し、それらを踏まえて自分の意見が効果的に伝わるよう、資料を活用してみんなに呼びかける文章を書く経験をしている。また、5年生では、和の文化についての説明会の中で、どう資料を活用して発表するかということ学習している。しかし、本学級の児童にとって、たくさんの資料の中から自分の意見に合う資料を見付け出し、自分の意見をより説得力のあるものにするよう、資料を効果的に使うことに対しては課題が大きい。平成29年度全国学力・学習状況調査においても、大問2三の「水やりに協力してくれる人をば集めます」の〔イ〕に入る内容を、中学生の【アドバイス】を基に書く問題で、【アドバイス】の中に見付け出すべき条件が2つあるにも関わらず、1つしか見付け出せず誤答になっている児童が85.7%と多くいた。今後も、資料から何が分かるか、意見に対してどの資料が必要か、資料をどう活用すればよいかなど、国語科を中心に社会科や算数科、理科など他教科でも継続した指導が必要である。

(3) 指導観

指導に当たっては、単元のゴールを「自分たちが住む海田町をどのような町にしていきたいかをプレゼンテーションする」とし、そのゴールを目指すためにどんな学習を行っていけばよ

いのか、何を捉えればよいのか、児童とともに考え、主体的な学びになるようにしたい。まず、事前に教科書P136にあるバックキャストイングの手法を用い、「未来の海田町がどんな町であってほしいか。」と投げかけ、未来へのイメージをもたせておく。次に、導入では、他地域の町作りについての新聞記事を読み、①その地域の現状や課題、②その地域の良さや魅力、③良さや魅力を生かした町作りの様子、④人々の思いや願い、この4点について整理させる。このことにより、単元のゴールに向けて、海田町についても同様のことを調べたり考えたり整理したりしていく必要があることに気付かせたい。そして、教材文を通して、筆者の述べていることに対する資料の効果的な活用の仕方を確認していくようにする。述べていることに対する裏付けの資料であったり、述べていることをより分かりやすくするための資料であったり、資料の活用には様々あるので、分類することで活用の仕方をより理解させたい。併せてゴールを見据えた海田町に関わる新聞記事や広報誌などを教材文と並行して読めるよう、印刷したものを配布したり、調べ学習の時間を設け、自分の意見に合う資料を見付けられるようにしたりして、海田町の未来について考える時間を確保していきたい。

今回のプレゼンテーションはグループで行う。今回の学習においても、自分で考えたことをグループで伝え合ったり質問し合ったりして、グループとしての意見を構築し深めていけるようにしたい。

6 単元の目標および内容

- 自分たちの町の未来に関心を持ち、様々な資料を読んで調べ、その内容を相手に伝えようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- 収集した資料や情報を関係付け、整理している。 【話すこと・聞くこと（1）ア】
- 目的や意図に応じて、話の構成を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話している。 【話すこと・聞くこと（1）イ】
- 目的に応じて、複数の資料や情報を選び、比べて読んでいる。 【読むこと（1）カ】
- 目的に応じた文章の構成について理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（1）イ（キ）】

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの町の未来に関心を持ち、進んで様々な資料を読んで調べ、自分が考えた町の未来像について伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した資料や情報を比較・分類・整理しながら、提示する資料や内容を選んでいる。 ・ 収集したり作成したりした資料を効果的に提示し、発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じて、複数の資料や情報などを選んで、比べて読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の構成は、目的に応じて決まってくることを理解している。


8 本単元において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①主体性 ②課題発見・解決力 ③チャレンジ精神 ④自らへの自信の4つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の4つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	自分たちの町の未来について、必要な情報を進んで集めたり、考えたことを伝えたりしようとしている。
課題発見・解決力	実生活や資料、情報などから、自分たちの町の課題を捉えたり、プレゼンテーションで用いる資料や内容を、どのようにして効果的に提示するのか考えたりしている。
チャレンジ精神	より分かりやすいプレゼンテーションにするために、必要な資料や内容は何かを粘り強く考え、発表している。
自らへの自信	自分と友達の考え方を比べ、それぞれの良さや、自分たちの町の未来について自らの考えが深まったことに気付いている。

9 単元の学習指導計画（全12時間）

次	時	学習内容	評価					
			関	話 聞	読	言	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)	
一	1	課題の設定 新聞記事を通して 学習内容を把握し、 学習課題を設定する。 【本時】NIE	海田町に関わる新聞記事や広報誌を並行読書する NIE	○				・自分たちの町の未来に関心を持ち、自分が考えた町の未来像について伝える学習に意欲的に取り組もうとしている。(ワークシート・発言・行動観察)
	2	教材文の構成を理解し、筆者の考えを捉える。				○	○	・教材文の構成を理解し、筆者の「町の幸福」への考えを捉えている。 (ノート・発言) ・文章の構成は、目的に応じて決まってくることを理解している。 (ノート・発言)
二	3	情報の収集 教材文の本論部分の内容を読み取り、						・各事例の内容を捉え、目的に応じた資料活用の仕方を理解している。 (ノート・発言)
	4	用いられている資料の効果や良さを考える。				○		
	5	課題の設定 自分の町の未来について、自分の考えを持つ。		○				・今までに読み取ったことを基に、海田町の未来像について自分の考えを持つとしている。(ノート・発言) ★実生活や資料、情報などから、自分たちの町の課題を捉えている。(ノート・発言)

	6 7	情報の収集 複数の資料や情報を読み、プレゼンテーションに必要な情報を集める。		○	・目的に応じて、複数の資料や情報などを選んで、比べて読んでいる。 (ノート・行動観察) ★自分たちの町の未来について、必要な情報を進んで集めようとしている。 (ノート・発言)
	8 9	整理・分析 集めた情報を整理し、提案することを決め、プレゼンテーションに必要な資料を選んだり作成したりする。		○	・収集した資料や情報を比較・分類・整理しながら、提示する資料や内容を選んでいる。 (ノート・行動観察) ★より分かりやすいプレゼンテーションにするために、必要な資料や内容は何かを粘り強く考えている。 (ノート・行動観察)
	10	用意した資料を用いながら発表練習を行う。		○	・資料を効果的に活用して分かりやすく話す工夫を考えて、プレゼンテーションの練習をしている。 (発言・行動観察) ★プレゼンテーションで用いる資料や内容を、どのようにして効果的に提示するのか考えている。 (発言・行動観察)
	11	まとめ・創造・表現 提案の良さが伝わるようにプレゼンテーションをする。		○ ○	・収集したり作成したりした資料を効果的に提示し、発表している。 (プレゼンテーション) ★自分たちの町の未来について、考えたことを進んで伝えようとしている。 (プレゼンテーション) ★自分と友達の考え方を比べ、それぞれの良さや、自分たちの町の未来について自らの考えが深まったことに気付いている。 (ノート・発言)
	三 12	ふりかえり 学習内容を振り返り、改めて町の未来についての自分の考えをもつ。		○	・資料を活用して、意図が明確に伝わるような発表をするために大切なことを理解している。 (ノート・発言) ★「深い学び」を実現した児童・生徒の具体 ・自分の発言が正しいことを表したい時や相手に簡単に理解してほしい時に資料を使うといいんだね。 ・資料を選ぶ時は、複数の中から選んで、本当に必要なか考えて構成していくんだね。

10 本時の学習

(1) 本時の目標

新聞記事を通して学習内容を把握し、学習課題を設定することができる。

(2) 本時の評価規準

自分たちの町の未来に関心を持ち、自分が考えた町の未来像について伝える学習に意欲的に取り組もうとしている。 【国語への関心・意欲・態度】

(3) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した児童への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	1 写真を見て、分かることを発表し、それを基に今日のめあてを設定する。	◇気付いたことを自由に言わせたあと、なぜ、カフェの開店を地区の住民が祝っているのか考えさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">新聞記事から、地区の人々とカフェのつながりを考えよう。</div>			
展開	2 新聞記事を読み、記事の内容を把握する。 「棚田カフェ開店 眺望心ゆくまで」の新聞記事 H29. 9.10 中国新聞	◇新聞を読む観点として、 ①その地域の現状や課題、②その地域の良さや魅力、③良さや魅力を生かした町作りの様子、④人々の思いや願い、の4つを提示し、これらについて読み取るようにさせる。 ◆必要な箇所に線を引きながら読むように声かけを行ったり、一緒に読み進めたりする。	

	<p>3 読み取ったことを確認し、カフェが地区の人々にとってどんな存在かを考える。</p> <p>自力→グループ→全体</p> <p>協働の場面での児童生徒の言葉</p> <p>・ カフェを訪れることで、より他の地域の人々に、美しい棚田があることを知って欲しいんだよね。</p> <p>・ 人口が減り、高齢化も進んでいるけど、みんなの力でこの景観を守りたいんだね。</p> <p>4 今後の学習計画を立てる。</p> <p>※プレゼンテーションの仕方を知る（資料の活用の仕方）</p> <p>※海田町の未来について考える</p>	<p>◇新聞記事を補うために、住民グループ「いにびちゅ会」のホームページ(写真)を見せ、地区の人の思いを感じられるようにする。</p> <p>http://initanada.yamanoha.com/index.html</p> <p>◇地区の人々が、町の未来を思い描いていることを確認する。</p> <p>◇自分たちが住む海田町について、町の未来を考え、プレゼンテーションをする単元のゴールを示し、どんな学習が必要か考えていく。</p>	<p>○自分たちの町の未来に関心を持ち、自分が考えた町の未来像について伝える学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>(ワークシート・発言・行動観察)</p>
<p>まとめ</p>	<p>5 本時のまとめをし、振り返りを行う。</p> <p>自分たちの町の未来を考え、カフェを通して町を守っていかようとしている地区の人々の思いが分かりました。これからの学習で、海田町の未来の姿について考えていきたいです。</p> <p>6 次時の学習内容を知る。</p>		

